

合併したそれぞれの地域が地域資源を活かして、個性を輝かせ、魅力を高めることが、上田市の発展にもつながると考えており、今回は主に丸子地域に関する質問。一般質問した 3 月 6 日は、新生上田市の合併記念日でした。



和子・萩窪・平井バイパス整備事業

(久保田議員)

国道 254 号の交通量の増加が見込まれる中、県事業の和子・萩窪・平井バイパス整備事業の状況は？(写真は、建設中の和子バイパス工事)

(手塚丸子地域センター長)

和子バイパスは、延長 1,760 メートル区間の工事を進め、2019 年度に供用開始となります。

萩窪バイパスは、延長 1,660 メートル区間のルート決定がされ、2019 年度より用地交渉に入り、事業進捗が図られる予定です。

平井バイパスは、延長 980 メートル区間で、2020 年度の三才山トンネル無料化までに、その内の延長約 670 メートル区間についての供用開始を目標に進めているとのこと。

小屋坂トンネル周辺道路

(久保田議員)

小屋坂トンネル周辺道路は、S 字カーブで勾配がきつく、凍結が心配される箇所だが、交通安全対策についてはどうか。

(手塚丸子地域センター長)

昨年の平井寺トンネル無料化に伴い、依田窪地域から丸子市街地を経由していた車両が 1 日あたり 500 台以上の減少となり、一方、小屋坂トンネルや平井寺トンネルを通過する車両は、1 日あたり 500 台以上の増加となりました。上田建設事務所と現地を確認し安全対策を更に協議していきます。

国道 254 号の道路改良などの交通安全対策

(久保田議員)

三才山トンネルの無料化により、交通量が大幅に増加することが予想される。西内小学校の児童の通学路でもある国道 254 号の道路改良などの交通安全対策は？

(手塚丸子地域センター長)

国道 254 号の通学路区間の安全対策では、平井バイパスの早期完成を目指しています。また、残りの通学路区間につきましては、沿線の 6 つの自治会で構成されている「東内・西内地区の安心安全環境を守る会」とともに、道路の拡幅等の安全対策について、道路管理者である上田建設事務所に要望していきます。

梔子ワイナリーの竣工に合わせて



(久保田議員) ^{まりこ} 梔子ワイナリーの特徴および梔子ワイナリーの立地や規模、コンセプトなどにより集客が大いに期待できるが、市の取り組みは？(写真は、代野メルシャン社長：右から 3 番目、土屋市長ら関係者と懇談：上田市内、右は、建設中のワイナリー)

(手塚丸子地域センター長) 広域的農産物マルシェの定期的な開催、「梔子ワイナリー」のワインと合う地元食材の開発、若手農業者との連携による「食」を通じた新たな上田市の魅力創出などについて検討しています。「千曲川ワインバレー特区連絡協議会」としても、圏域内の「ワイナリー巡り」など広域的な周遊策についても研究し、来訪者の満足度を向上させるよう取り組んでいきます。

(久保田議員) ^{まりこ} 梔子ワインは、品質では世界に通じるワインと評価されており、ほ場の面積でも国内では有数。ワイン用ぶどうのほ場拡大や周辺道路改良などはどうか？

(手塚丸子地域センター長) マリコ・ヴィンヤードは、現在約 21 ヘクタールです。約 2.5 ヘクタールのほ場拡大に加えて、今後約 6 ヘクタールのほ場拡大も予定されています。周辺道路については、千曲ビューラインからアクセスする市道が狭く危険であることから、拡幅改良を計画しております。

かわまちづくり事業



(久保田議員) かわまちづくり事業は、ハード事業とソフト事業を組み合わせ、地域の活性化につなげることが事業をすすめる大きな目的です。今後の取り組みは？(写真は、千曲川と依田川の合流点付近、毎年小白鳥がやってくる)

(手塚丸子地域センター長) ソフト面では、カヤックなどの川下り体験や日帰りでキャンプを楽しむデイキャンプなどが計画されており、ハード面では、国が河川管理用道路、河川敷、護岸等の整備が計画されています。市は親水広場、管理棟、遊歩道、芝生広場や遊歩道など。先進地視察や講演会などを実施し、民間事業者からのアドバイスや独創的なイベント等により、新たな「にぎわい」の創出へつなげられるものと期待しております。